

## 飯館村・村民集会アンケート結果が示す現実

～ 原発立地自治体の首長たちよ、この現実をどう受け止める ～

10月4日に飯館村で村民集会が開かれた。「愛する飯館村を選せプロジェクト 負けねど飯館!!」が主催した集会である。ホームページに次のような紹介文が出ている。

飯館村では福島第一原発の事故に起因する放射能という「見えない津波」によって、今なお多くの命・生活・未来が脅かされています。このことに対して私たちは声をあげ、尊い命を守り、美しかった頃の飯館村を取り戻すために行動していきます。

故郷の再生へ向けた切ないほどの思いが伝わってくる。しかし、放射能汚染の現実が深刻で、参加した村民の多くが不安や絶望感を抱えている様子がアンケートから見えてくる。原発をかかえる自治体首長はこの現実を直視するべきだ。同じ運命をたどる可能性を抱える原発に依存する意義が本当にあるのか見据えて欲しい。

この集会アンケートは参加した44人のサンプル数での結果であり、全村民の意向について統計的有意性がある数ではないことを事前にお断りする。それでも、この結果は重い課題を突きつけていることに変わりはない。\*一部抜粋

### 10月4日に行われた「緊急集会」と村民集会アンケート結果

Q4 原発事故～避難までの自身の対応

1	役場や健康リスクアドバイザーなどの情報や指示に頼って行動してきた	10	22.7%
2	役場の情報や指示に頼らず自分で情報を集め行動してきた	20	45.5%
3	どこの情報や指示を信じていいのか分からないまま過ごしてきた	8	18.2%
4	その他	2	4.5%
5	無回答	4	9.1%
合計		44	100.0%

Q5 避難後の自身の対応

1	役場や健康リスクアドバイザーなどの情報や指示に頼って行動してきた	6	13.6%
2	役場の情報や指示に頼らず自分で情報を集め行動してきた	23	52.3%
3	どこの情報や指示を信じていいのか分からないまま過ごしてきた	8	18.2%
4	その他	3	6.8%
5	無回答	4	9.1%
合計		44	100.0%

Q6 村の復興(除染)計画について

Q6-1 2年で住環境の除染が完了するか

1	可能である	0	0.0%
2	可能性は高い	0	0.0%
3	可能性は低い	5	11.4%
4	可能性はない	33	75.0%
5	わからない	5	11.4%
6	無回答	1	2.3%
合計		44	100.0%

Q6-2 2年後に帰村して生活するか

1	生活する	0	0.0%
2	できれば生活する	3	6.8%
3	できれば生活したくない	2	4.5%
4	生活しない	24	54.5%
5	わからない	13	29.5%
6	無回答	2	4.5%
合計		44	100.0%

Q6-3 5年後に農業(家庭菜園含む)を再開するか

1	する	0	0.0%
2	できればする	4	9.1%
3	できればしたくない	1	2.3%
4	やらない	25	56.8%
5	わからない	11	25.0%
6	無回答	3	6.8%
合計		44	100.0%

Q7 村民参加による除染作業に対する評価

1	1. 賛成	1	2.3%
2	2. どちらかという賛成	0	0.0%
3	3. どちらかという反対	5	11.4%
4	4. 反対	25	56.8%
5	5. わからない	8	18.2%
6	6. その他	3	6.8%
7	無回答	2	4.5%
合計		44	100.0%

Q8 除染や仮置き場などの政策決定過程に対する評価

1	非常時なのでやむをえない	1	2.3%
2	非常時の範疇を超えていて許されない	37	84.1%
3	その他	3	6.8%
4	無回答	3	6.8%
合計		44	100.0%

Q9 原発事故以前の生活に戻るものの可能性

1	可能である	0	0.0%
2	可能性は高い	0	0.0%
3	可能性は低い	9	20.5%
4	可能性はない	25	56.8%
5	わからない	7	15.9%
6	無回答	3	6.8%
合計		44	100.0%

### 自由記述

#### Q4 原発事故～避難までの自身の対応

- ・自分の状況によって(異なる)
- ・「2. 役場の情報や指示」ですが、基本的に信頼できる人の話を伺いました
- ・子供と妊婦の妻だけは3/15に避難させた
- ・当初行政及びアドバイザーの指示を頂いて行動していたが、3/25より自分で情報を集め行動してきた
- ・自らの知識と判断で行動、ただし業務上制約あり

#### Q5 避難後の自身の対応

- ・避難はしていませんが、沢山の情報の中から自分で考えて選んでいます
- ・自らの知識と線量計測で対応を判断

#### Q7 村民参加による除染作業に対する評価

- ・簡単な研修程度では被ばく対策はできない 当初(3/15～)の被ばく量を考えれば反対
- ・放射線防護の知識を十分に研修すべき(除染技術の研修だけでは不可)
- ・どちらかといえば反対であるが、きちんとした対応をすればいいのではないかという思いもある
- ・線量が低いところであれば賛成
- ・なぜ自分がしなければいけないのか不思議である
- ・職がなければ食べられず、職を求めれば汚染される
- ・除染作業は安全委員、保安院、東電から人員を出すべきです
- ・東電にやらせろ、村長がやれ

#### Q8 除染や仮置き場などの政策決定過程に対する評価

- ・計画に限らず、当初から村民の意見は取り入れられない
- ・話し合いがないのはありえない
- ・わからない

#### Q10 村民アンケート調査に対する要望

##### 【帰村/移住について】

- ・帰村は、各世帯の世帯員の中でも意見が分かれると思うが、全体的な%で示せるような項目として聞き、村長と違う意見もあることをメディアに露出してほしい
- ・除染後、子供も戻しますか?
- ・戻れるか、戻れないかを
- ・移住について
- ・移住の希望をとること
- ・村の移住の賛否を取って欲しい(村全体) 除染後村民が戻るか、他市町村のどこかに移住するか

##### 【生活や家計のことなど】

- ・今現在(避難先)の生活で不便なこと、困っていること 村(行政)への希望 村民の想いや村民の声が聴ける内容仕事や、家計の状況など
- ・今知りたいことベスト10くらい

##### 【村の将来像など】

- ・村民が求める「復興」とはどんなかたちか?(帰村、生活の安定、新たな生活 etc)
- ・何が村民にとっての幸せの形なのか? どんな状態になったら村に戻るか?

##### 【土地の買い取り】

- ・住民の希望、東電・国による土地の買い取り

裏面に続く

## 【その他】

- ・先の話はいいが、生活していくためのもっとも速い計画を実行できるようにしてほしい
- ・村長は人を殺す気か 村民の健康はどう考えているのか
- ・除染の是非は住民投票で
- ・議会はなにをしているのか 3/11 から何も見えない
- ・村長（菅野典）がいるかいらないか？リコールすべき
- ・今後について本当のことを聞かせてほしい
- ・ない するだけむだ

## 【Q11 村(村長、役場)に取り組んで欲しいこと】

### 【村民意見聴取の徹底】

- ・村の方々の意見を聞く活動（公開で話し合う）
- ・村民の思いをもっとわかかって欲しい
- ・情報の開示、意見の集約
- ・村民の声を聴いてください
- ・村民同士が集える場所、機会をもっと作ってほしい
- ・意見を聞け 自分で決めるな 本を書き出版している暇はない テレビに出ず村民の前に話を聞きにまわれ
- ・一人一人の話を聞いて一人一人の対応をしてほしい 帰る人帰らない人、などすべての人に平等に予算の分配をしてほしい 村長は今すぐやめてほしい 村長を何とかすべき 辞めさせるべき
- ・さまざまな意見、要望があると思います それぞれの想いがあります 極力みなさんの希望がかなうよう、選択肢を沢山もうけてほしいと思います あくまで決めるのは村民だと思います
- ・住民の声にもっと耳を傾けてほしい 断片的な意見ばかりでなく、1人1人の声をきまこまやかに対応して頂きたい 村と住民との意見交換会は必ず行わなければならない
- ・きちんと村民の意見を聞いてから行動してほしい 避難についてのアンケート（要望など）を記入してもらおうと村長は発言していたが、そのアンケートは全くしていない あの広大な土地の除染を短期にするのは無理 今は現在の生活を安定させるべき

### 村民集会

- ・村民の意見を聞く
- ・村のコミュニティをもっと取り入れてほしい

## 【情報の公開】

- ・村民を無視した取り組みをしないこと 情報の隠べいをしないこと 村民を平等に扱うこと
- ・情報は隠さず流してほしい 現実はかなり厳しい 除染計画はかなり危険 、ましてきちんとした除染の仕方をしなかつたら後々の健康被害が出たときのこと、対策を考えているのか
- ・情報の伝達をもっとしてください

## 【村の移転・移住／帰村を望まない人への対応など】

- ・戻ることばかりでなく、見切りをつけて他で生活を始めた人への支援をしてほしい
- ・移住や新しい土地に行けるように考えてほしい
- ・村全体で住める場所さがし
- ・除染をすれば戻れるような話をやめてほしい 不可能なら不可能で、新しい村を作る事を進めるべきでは？
- ・村全体をどこかに移転を考えたが村民は安心して暮らせると思う
- ・糸長先生の案に取り組むこと

## 【村民のくらし・生活保障】

- ・補償問題 これからの生活する場所
- ・保障を最優先して取り組むこと 代替地を用意して村民全体で移住すること 除染作業は無理なので税金の無駄遣いだ
- ・家・土地の国、東電への買い上げに向けてなるべく早く取り組んでほしい（希望者から優先して）
- ・東電との交渉、除染計画の是非

## 【村民の健康対策】

- ・子供を村に縛り付けないでほしい
- ・村民の健康をもっと考えてほしい
- ・村に帰村するとしても誰もが（村民も）安全安心だとならない限り戻るとは不安です

## 【その他】

- ・除染してすぐ生活基盤を作るのか？除染してすぐ収入を得ている計画が自分で作っていけるのか？
- ・妙な専門家は首 住民投票の実施 ・住民と行政の融和 ・ない 期待していない

## 【Q12 その他自由記述】

### 【(子どもの健康について)】

- ・村民の命を最優先に考えるべき（特に子供、若い人の命） 線量など大切な情報は隠さず公表すべき 村民の要望はきちんと聞きいれ早急に対応すべき
- ・子供にガラスパッチを着けさせてほしい
- ・実効性が証明されていない技術は当てにできない まず完全な避難実施が先決 リスクが回避最低 15年 国あるいは東電で所得不動産の買い取り 新飯館村の建設（希望者）
- ・まず、「子供を守ってください」と思います。今避難されている福島市も決して安全ではないと思います。どの市町村も子供を守ろうとしないように感じてなりません。まず子供に対して対策を立ててから次に進むべきだと思います。そうしないと何をやっても安心は得られないと、母親としては思います。ふるさと（飯館村）へ帰るのは子供の為ではないのですか？どうして行政は除染、復興のことしか言わないんでしょうね。子育て中の母としてはすごく違和感を持っています。もう行政をあてにしている場合ではないと思います。

### 【除染の実現性への疑問、その代替策など】

- ・私は移住者です。夢希望をもってこの村にきました。子供、孫たちは2度と遊びに来ることはないと言っています。除染計画も大変重要ですが、飯館の汚染は特別です。もとに戻すことはできません。つらいですけど、現実を受け入れ、新しい生活に向けて出発することを村・村民は決断してほしい。村長は安易な期待は持たせないで、国・東電と交渉してほしい。（早急な土地、家の買い上げ）私たちはもう若くないです。飯館村にはもう子供は帰れない、帰らないでしょう。村は子供がいなくて若い人がいない、いずれは廃村になる運命です。放射性物質のゴミの捨て場がどこにもありません。飯館は受け入れる運命です。国にとっても一石二鳥です。3200億の除染計画予算は全く無駄になると思う。金は有効に使ってほしい。
- ・除染に無駄な金を使わない方が良くと思う 今の予算よりオーバーすると思うので・・・だったら移住した方が予算が出なくて済むと思う
- ・常識的に考えて、村には多種、大量な放射性物質が降下したはず。しかし今やセシウムのみを焦点を合わせたかのようなのである。測定と対策が取られている。一方で市内では県補助金 50万円で民間除染が行われている。しかもガイドラインのみで側溝の中の汚泥の堀上までさせている。人が触れない、住まない、蓋付き遮蔽効果ありの場所までなぜ？ 9/30には、村でストロンチウム、プルトニウムが見つかったとの報道。すべて後出して、当初の状況を隠し続けている。村（村長）はいまだに「悪い」情報を出さないように国に言っているとか聞いている。国は確信犯、県は国の模倣犯、村は…無知を装った政治犯。村への繋ぎ止めに躍起になっている村・県は異常かつ滑稽。村を誰に乗っ取らせる気か？ 国は核種ごとの詳細な計測値を発表すべき。(汚染マップを作るべき) 村は住民の意をはからうべき。県は国に加担した罪を「猛省し」至急、村民生活の為の支持を県自身が行うべき。

### 【村長のリーダーシップに対する意見】

- ・村長をよぼう 話を聞こう 意見を言おう リコールしよう 次回開催を待っています
- ・村長はやめるべき やめろ 私は 100%村に戻る気はない
- ・飯館村村長は露出が多く、村のことをとても考えて一生懸命だと思っていたのですが、「ふたを開けて」みないと分からないのですね。村民の皆様の苦悩をよく知らず申し訳ありませんでした。私は福島市に住んでいます、どこの住民も正しい情報がなかなか得にくい状況でまるで戦争中の情報操作の中にいるのと同じです。でも飯館村の皆さんは、こうして集会を開き声を上げ、自分たちのことを自分たちで何とかしようと動いていてすごいと思います。健康手帳など具体的に動いていて素晴らしいです。でも、こういうことは全て国がやるべきことです。国も県も市も対応が遅すぎ、信頼できるものではありません。ロクに文句を言っても何もかわりません。住民一人一人が声を上げ、地域同士でつながり、全責任は原発なんだということを全国に伝えて国を動かすべきだと思います。うまく伝えられなくて、もうしわけありません。

## 【その他】

- ・伊達市では毎週広報を出し、線量や野菜などのベクレルを「不検出」という書き方でなく、しっかり数字を出しています。飯館でももっと住民にどんどん情報を知らせてほしい。村からのお知らせをするための集会を開くのもいいのでは？ 以前のコミュニティは壊れたといいますが、借り上げにいて元の区長から連絡がくることもありませんし、村から発表してくるとも思えません。第2の飯館村に期待します。

政府は避難準備区域の解除や除染作業などによる復旧を目指しているが、地域に暮らす住民の声と必ずしも一致していないようだ。汚染状況の情報開示も不十分な様子がわかる。国の無責任と村長の筋違いな感覚が村民を辛い状況下に放置することにつながっている。泊原発が事故を起こせば私たちも同じ運命だ。筋違いの首長とともに同じ状況に陥るのはこりごりだ。結局、全うな首長を選ぶことができるのかどうか、我々が試されているということだ。